



小林みお

つむぎ便り 21

議会報告 2024年新春号

〈ごあいさつ〉

皆さま、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

2023年は統一地方選挙が挙行され無事に三期目を迎えることが出来、東村山の更なる発展のために日々お仕事をさせて頂いております。

2024年は東村山にとって節目の年。昭和39年4月1日に市制施行され、令和6年4月1日には市制施行60周年を迎えます。

この一年が東村山にとっても、皆さまにとっても幸多き一年となりますように。

東村山市議会議員 小林美緒



2023
9月
議会報告

決算委員長を仰せつかりました。

9月定例会は一般質問、常任委員会の他に決算委員会があります。市議会によって異なりますが、東村山市議会では議長、副議長、監査委員を除く全議員（22名）が委員になっています。令和4年度の決算審査を5日間で行いました。今回は決算委員長を仰せつかり、行政所管、議員のご協力を頂き、滞りなく審査を終え認定されました。

一般質問のテーマは「更なる学校外プールにおける水泳授業の実施をどう考えるか」「近い将来の学校給食のお話」と2点を議論させて頂きました。



1. 「更なる学校外プールにおける水泳授業の実施をどう考えるか」

市内学校のプールは老朽化が進んでいます。昨今の夏の暑さの中で屋外プールは危ないという話もよく聞くね。しかも屋外にあるプールは夏場しか利用できないので稼働率が低く、最近は再整備せずに民間のプール施設をうまく活用しながら年間を通してプールの授業を行う方法が注目されているよ。東村山も令和3年からトライアル実施がスタート。数校ではスポーツセンターやロンドスポーツのプールなどを活用して授業を行っています。

Q 1 施設再生の側面から見ても、どのような考え方で施設の集約化などを行っていく予定？

A プールの授業は上下水道料金などの光熱費、清掃費、薬剤費などの維持管理費がかかる。建替も多額の費用がかかる。これから始まる学校の建て替えなどの際は複数校で共同利用などの様々なシュミレーションを行っていく予定。

共同拠点ができれば場合によって、土日は民間開放や夕方放課後の習い事の場としての開放なども期待できますね。

2. 「近い将来の学校給食のお話」

東村山では小学校は自校式全員給食。これから学校の給食室の老朽化や再整備に併せて、今後の小学校の給食はどうしたらいいかな？という「学校給食あり方検討会」が一年半かけて設置されていました。中学校は選択制のスクールランチを注文できて、家から持ってくるお弁当でも良いってことになっている。中学校の給食を求める声はこれまででも多かったけど、喫食率が良かったのと、実際の生徒さんたちにアンケートをとると今のままで良いという答えが多く、これまで私も自分の意思で選択できれば良いと思っていました。ただ、市内全体の学校の再整備や、近年の共働きの増加などのことを考えるとベースに全員給食があってもいいなと思い質問してみた

Q 1 小学校の給食はこれからどうしていく予定？

A 「安全かつ安心な給食の実施」「温かく美味しい給食提供」「給食を通じた食育の充実」「将来にわたり安定的な給食体制の構築」を大切に、給食調理室については、自校方式を維持しつつも、給食調理室の老朽化、狭隘化への急がれる学校に対しては、自校方式に捉われず外部調理方式や親子方式も検討していく。裏面につづく▶

Q 2 国が無償化の議論をし始めたと思うが、中学校の給食に関してはどうする？是非、ここで市長の英断を求める。

A 市長：来年度以降に向けて早急に、小学校、中学校の在り方について、最終形、それから当面の善後策、方向性をしっかり定められるように先頭に立って議論を尽くしていきたい。

眼に見えるこども政策をこれまで出来てない、眼に見えて子どものために東村山が変わる大きなターニングポイントを期待する。

Tsumugi コラム 東村山アイン Pay がスタートしました。ちょっとした不便を地元愛で買うって感じでしょうか。多くの皆さんで育てていければ幸いです▶



◀ 10月15日無事に阿波踊り大会が開催されました。

2023
12月
議会報告

「秋水園ごみ焼却施設の再整備について」「学校給食の前進に向けて」

12月議会では一般質問、常任委員会が行われました。また初日、最終日には補正予算審議もありました。自民党としても要望していた内容も織り込まれ、少しでも市民の皆さまのご要望に応えられたことを嬉しく思います。一般質問のテーマは「秋水園ごみ焼却施設の再整備について」「学校給食の前進に向けて」と2点を議論させて頂きました。



1. 「秋水園ごみ焼却施設の再整備について」

平成28年「ごみ処理施設あり方検討会」が設置されてから、市民意見交換、説明会、7800世帯へのアンケート、基本方針の策定、PFI等導入可能性調査など長期間にわたり多くの市民の皆さまにご参加いただき丁寧に検討が重ねられてきました。しかし、令和5年6月30日「廃棄物処理施設整備計画」が国で閣議決定され9月には今後の廃棄物処理施設に係る交付金要望額調査がありました。東村山市は、単独処理を決定し準備をしてきましたが、どうなるのか？と思い質問をしてみました。

Q 1 6月の閣議決定後、市町村の施設についてどのような方向性が示されたのか？

A 計画では3つの基本的理念と7つの項目に関する内容が示された。この中で「持続可能な適正処理の確保に向けた安定的、効率的な施設整備及び運営」で焼却炉の整備にあたってエネルギー活用観点から一日100トン以上の焼却施設を設置できるようにし、既に100トン以上300トン未満の施設を設置している地域については、300トン以上の施設の設置を含め検討することなどが求められていた。

Q 2 交付金要望調査はどんな内容だったか？

A 全国自治体の令和6年度以降のゴミ処理施設の更新需要はこれまでにない規模で増加する見込み。また令和7年度以降に着手する予定の施設整備事業については計画の見直し、施設規模の算定式についても変更が「仮」としながらも示された。

当市は現在100トンに達しているが、今後人口減少などを鑑みるとゴミの排出量は減ることは確実。尚且つ、算定式の見直しをされると100トンに届かない可能性が大いにあり、そうすると交付金を獲得できないということになりそうで心配。PFI等導入可能性調査報告書によると事業方式はDBO。その際の財政負担額は工事費161億、解体工事費18億、20年間の運営費126億。多額の費用も必要になるので、今後慎重に丁寧に進めてほしい。

2. 「学校給食の前進に向けて」

9月に引き続き、給食について深掘りをしたよ。9月の一般質問以降、全員給食を求めた陳情が全議員一致で採択され、12月議会の市長所信表明で「中学生の全員給食が令和8年度内に開始される」ことが発表されました。きっかけになる質問を出来て前進していただいたことに感謝です。

Q 1 老朽化、狭隘化している萩山小学校、東萩山小学校、八坂小学校、青葉小学校の給食はどうしていくのか？



A 萩山小学校の建て替え時に東萩山小学校の生徒の給食もまかなえる給食室を作りたい。八坂小学校は生徒数が多いので外部調理方式で。青葉小学校は親校を探す。どれも保温食缶方式で熱い給食を届けられる。

Q 2 中学校全員給食にする場合の課題は？

A 民間工場の老朽化、アレルギー対応、国や都で言われている無償化。スピード感を持って取り組んでいかなければならない。

これまでご協力頂いている業者も大事にしながら、スピード感を持って集中調理方式でデザインビルド方式も視野に入れ、令和8年度中のスタートを目指してください。



◀ (左) 後援会役員で誕生日に温泉へ。癒される時間でした。
(右) 市長へ予算要求の要望書を出しています。

PROFILE 小林 みお

昭和57年生まれ 福岡県にて生まれる。5歳の時、東村山へ。美住幼稚園 → 八坂小学校 → 東村山第一中学校 → 都立田無高等学校 → 彰栄保育福祉専門学校卒。介護福祉士を取得し、社会福祉法人千曲会 健光園にて勤務。30歳を期に退職。今しかないという想いで地元東村山で仲間と久米川阿波踊り大会の復活に向け活動を始める。無事復活を果たし、仲間と東村山に感動する事をきっかけに市政に興味が出る事となる。平成27年東村山市議会議員選挙において初当選。現、東村山市議会議員2期目。都市整備委員会、生活文教委員会、広報広聴委員会、政策研究会、東京都後期高齢者医療広域連合議会議員、東村山市社会福祉協議会 評議員、東村山防衛協会女性副部長、東村山サッカー協会顧問、予算委員会副委員長など

